

20.11.14道南越冬幼虫調査 オオミスジ・ヒメジヤノメ (つじ)

8月から前回まで継続して見てきた幼虫たち、今回も見に行くことにした。
千歳近辺から道南まで、毎回休憩含め5時間近く運転をするが、昼間は
時間がもったいないので暗くなってから出発。
秋の北海道の日の入りは早く早めに出たが、現地着は22時過ぎだった。

乙部町11/13
オオミスジ

前回4個体、
今回3個体確認
できた。
その中で、継続観
察できたのは1個
体のみ。(①)
①の静止位置は前
回と全く変化がな
かった。

他の幼虫は見失っ
たが、②と③は前
回のもが含まれ
ているかも...

また、別の木の幼
虫はどうしても見つ
からなかった。

それにしても見事
な擬態&寒い枝の
上の越冬。
スゴイ幼虫だ！



厚沢部11/13
ヒメジャノメ

昨年1頭発見のみ。しかし前回の調査の感触で「今年はもっと！」と希望をもって現地に臨めた。
前回、夜間観察で複数確認できたスゲを見てみると...

緑系の幼虫も発見できた→

←近くに2頭いるのがわかる。



根元近くの枯れ枝に1頭。
わずかながら移動していた。↓



厚沢部11/13
ヒメジャノメ

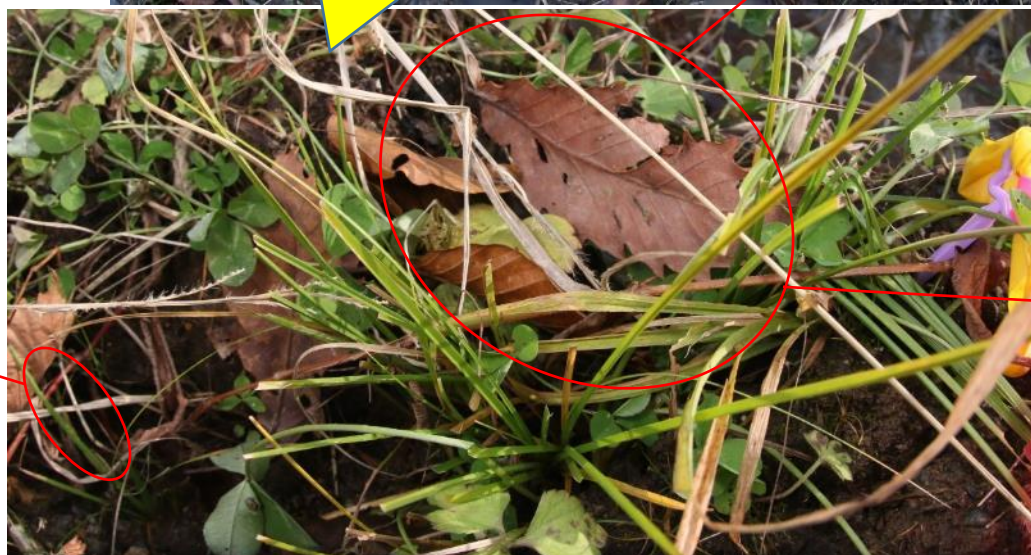
次にやはり複数の幼虫を見ることができた水たまり脇を探す。
ここでは3頭発見。結果、全部で7頭の幼虫を観察できた。
ただ、前回発見できた水の中から出ている(もしくは水際の)食草からは発見できなかった。

先ほど同様、食草の葉に幼虫が
静止していた↓



↑
たくさんの食痕がある食草の根元の
枯葉裏に幼虫がついていた。

↓



今年はこれが最後・・・

オオミスジ・ヒメジャノメ共に、越冬直前（オオミスジは越冬中？）の様子を見ることができて、とても満足。

厳冬期にも来て見てみたいが、叶わない。（車が富良野で越冬中）

新型コロナ急増の中、この先どうなるかわからないが、来春また見に来て、できれば蛹まで追ってみたい！